

（様式第3号）

企業・団体名（株式会社パレスホテル）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

カ テ ゴ リ	項目番号	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （※などの取得証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人 権 労 働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			雇用条件にて差別をしない						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			パワハラハラスメント禁止を社内に掲示						5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1		
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			勤務体制の整備を行っている									8.5 8.8								
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			外国人労働者へ適切な処遇や労働環境の整備を行っ ている。			4.4						8.7 8.8	10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			安全で衛生的な職場づくりに取り組んでいる。		3							8								
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策 に取り組む。			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			女性や高齢者など、誰もが働きやすい職場づくりに取り 組んでいる。						5.1 5.5			8.5	10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			従業員への旅行などを通じ研修を行っている。			4	5.5					8	9							
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			雇用形態に関わらず、公平な待遇に取り組んでいる。						5.5			8.5	10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）					3							8								
環 境	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			廃棄物を適切に分別・処理している。											11.6	12		14.1			
	12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			自社のエネルギー使用量を把握している								7.3					13				
	13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			節電や省エネルギーに取り組んでいる。								7.2 7.3					12.4	13.3			
	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本 （必須）			有害な化学物質の適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4					
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （※などの取得証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
公 正 な 事 業 慣 行	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			自家浄化槽の適切な管理・維持に取り組んでいる							6.6									15	
	16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			空き瓶・缶・段ボールなどを分別してリサイクルする													13		14.1		
	17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			地区の水源地を地区全体で適切に管理している。							6.4 6.6										
	18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得してい る	チャレンジ （任意）						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）															12.6					
	20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			温泉熱による館内の暖房をしている							7.2						13				
	21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			温泉熱の熱交換器を利用している。												12.2	13	14	15		
	22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			汚職や贈収賄を禁止し、社員に周知している																16 16.5	
	23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			不正な競争行為を行わないよう、社員に周知する																16	
	24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			音楽・画像・ソフトなどの著作権を守る									8.2 8.3	9							
公 正 な 事 業 慣 行	25	【個人情報保護】 ・個人情報適切に管理している	基本 （必須）			宿泊者名簿や予約情報など、お客様の個人情報を適切に 管理している。																16	
	26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）																			16	
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）							5				8		10		12	13	14	15	16	17
	28	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5〜追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）			今後、作成を検討する。			3						8	9	10						17

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （※などの取得証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本（必須）			食事の衛生管理や館内設備の安全点検を行い、安全なサービスの提供に取り組んでいる			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本（必須）			接客・料理・客室のチェックを行い、可能な限り品質のよいサービスを提供している。									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ（任意）									6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ（任意）				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本（必須）			地域の会社からの仕入れや地元食材の活用など、地域に配慮した事業を行っている				4					9		11	12		14	15	17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ（任意）							4							11			14	15	17	
35	社会貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ（任意）											8	9		11	12	13				
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本（必須）			経営方針や目標を朝礼や会議などで従業員に共有している									8	9						17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本（必須）			関係する法令を確認し、従業員に周知して遵守している																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本（必須）		【予定】	環境や地域への影響について、担当者を決めて管理する予定																16	
39	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※関係関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本（必須）			事故や災害などのリスクを把握し、対応方法を決めて管理している																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ（任意）																			16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ（任意）																				16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ（任意）												9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ（任意）												8	9							17

上記以外で設定した取組項目																				
独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
災害時の地域住民に対する取り組み		【予定】山ノ内町と災害時における避難施設等に際する支援協定を締結し、住民及びお客様の安全の確保を提供する。				3								11						17
森の資源の有効活用		倒木を薪として活用し、資源の有効利用と省エネルギーに取り組んでいる。													12					

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクスプレス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）
- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目については、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は赤字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が単へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定